

木更津市消防団だより

回覧

発行元
木更津市消防団
TEL 22-0119
(警防課)
2018年10月発行
VOL.32



バック
ナンバーへ



纏 まとい

2018. 秋号

木更津市消防団 機能別分団女性部

部長 国崎 信江



私は平成21年4月に木更津市消防団に入団しました。9年前の入団当時は、木更津市で初めて女性の団員を受け入れることに様々な課題があったと思います。消防本部や消防団の皆様のご理解のもと、受け入れていただいたことを心から感謝しています。私は地元の3分団3部に入団しましたが、団員の皆様がとても親切で、様々な配慮をしてくださったので女性一人という環境の中でも楽しく活動することができました。

さて、木更津市では女性の入団希望が増えたことから、平成28年4月に、機能別消防団のひとつとして女性部（女性消防団）が発足しました。私はこれを機に、これまでの分団から女性部に移りまし

た。現在では、大学生、看護師、主婦、市議、会社員まで年齢も幅広く職種も多様、さらに部員11名のうち6名がマラソンランナーというスポーツイヤーな女性が多く所属しています。

発足当初は、殻を出たばかりの雛のようにどちらに進めばよいのか右も左もわからない状況でしたが、それでも各自の入団した想いとともにも女性部の活動方針について消防本部のご担当者を交えて何度も意見を交わし時間をかけて話し合いました。詰所を持たない、車両もない、居住地も広範囲に位置するといった環境の中で、全員が無理なく活動出来る市民の皆様のお役に立てることを検討した末に、救命講習の指導員を目指すことを活動方針のひとつに掲げました。まずは応急手当指導員の研修を受講し、その年に全員が指導員としての認定を受けました。それを受けて昨年は、年度初めから市内で行われる救命手当の講習に参加し、本署の指導員の補助をして経験を重ねました。さらに今年は、救命講習における指導員としての自立を目指して指導方法のスキルアップの勉強会も実施しています。



また、救命講習への参加の傍ら、女性消防団の存在を市民の皆様にご存知いただくために、出初式のアナウンスや受付の他、市で実施する防災訓練や各種イベントのお手伝い、歳末警戒などにも積極的に参加するほか、毎月1回定例会議を実施しています。毎月にもかわらず、定例会議への出席率が高いことから女性部員の活動への意識の高さがうかがえます。

ところで、近年大規模な災害が多発していることを鑑み、発足した年に女性部として災害時の役割を話し合いました。災害時に本署に集まるのではなく、自宅の近くの避難所の運営支援を実施することを決めました。災害直後は全員集まって活動するよりも、自らの安全を確保しながら

それぞれ地域で活動することが効率かつ地域の支援につながるかと考えたからです。女性部は全員がスマートフォンを利用しているので、LINEでつながっていて活動の連絡にも活用しています。災害時にも地域の被害状況や避難所の状況を随時LINEで情報共有することになっています。

最後に、私たちは誰もが私生活において多用であることを理解し合い、欠席や遅刻を責めることなくできることを無理せずやってみようという気持ちで大切にしています。隣の君津市の女性消防団との交流や千葉県消防学校での研修を通じて多くの刺激を受けながら、地域に必要とされる活動を常に模索し、木更津市における女性消防団の未来につなげたいと思っています。これからも皆様からの励まし、ご指導をどうぞよろしくお願いいたします。



木更津市

消防操法大会

平成30年6月3日(日)旧市役所西側駐車場で第54回木更津市消防操法大会を開催しました。同大会は、団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、迅速・適格かつ実践的な基本訓練を展開し、火災防御に万全を期することを目的としています。

全38個部の消防団が、1チーム5人で行う「ポンプ車の部」には8個部、1チーム4人で行う「小型ポンプの部」には30個部が出場しました。消防ポンプを的確に操作し、地元地区の災害防御に努めるため、基本動作を習得し、迅速な活動を行うために、各部消防団員は休日や仕事を終えてからの夜間を利用して訓練に励み大会を迎えました。



大会の結果

【団体総合】

▽優 勝 5分団(鎌足地区)
▽準優勝 7分団(中郷地区)

【ポンプ車の部】

▽優 勝 8分団2部(戸内橋)
▽準優勝 4分団3部(久津間)
▽第三位 5分団1部(矢那)

【小型ポンプの部】

▽優 勝 2分団5部(八幡台)
▽準優勝 5分団3部(高倉・草敷)
▽第三位 5分団2部(下矢那)
▽第四位 2分団4部(伏見原)
▽第五位 4分団2部(江川)
▽第六位 7分団3部(牛袋野・曾根)



《最優秀個人賞》

【ポンプ車の部】

▽指揮者 富岡 章紀(8分団2部)
▽一番員 坂 典行(5分団1部)
▽二番員 時田 裕介(4分団3部)
▽三番員 岩崎 弘樹(4分団3部)
▽四番員 伊藤 優児(5分団1部)



【小型ポンプの部】

▽指揮者 山田 貴士(3分団4部)
▽一番員 鎌形 章広(5分団3部)
▽二番員 曾我 洸貴(5分団3部)
▽三番員 中村 幸二(2分団5部)



優勝チーム紹介

《ポンプ車の部》

8分団2部(下内橋・戸内)
指揮者 富岡 章紀 一番員 小川 順也
二番員 及川 正一 三番員 東 圭亮
四番員 金子 大輔 補助員 根本 茂樹

部長コメント 及川 正一

今回操法大会に向け、2ヶ月間訓練に励んで参りました。部長を務めながらの選手兼任ということもあり、いろいろ大変でしたが、地域の皆さん、OBの方々の協力もあり、優勝する事が出来ました。選手の間にも仕事がありながらも時間を削って頑張ってきた結果だと思えます。

今後、この経験を生かし団員一同一団となり消防活動に励んで参りたいと思えます。



《小型ポンプの部》

2分団5部(上烏田・八幡台)
指揮者 井上 啓輔 一番員 鈴木 友章
二番員 嶋野 幸雄 三番員 中村 幸二
補助員 苅込 勲

部長コメント 井上 大輔

今大会は練習期間が短い中、練習時間を増やし、2分団5部全員が一丸となり、あと一步の所で勝ち取る事が出来なかつた優勝を掴む事が出来ました。このチームワークや経験を今後の操法技術向上や地域防災、消防活動に役立てたいと思えます。



君津支部 消防操法大会

平成30年6月30日(土)千葉県消防協会君津支部主催「第39回君津支部消防操法大会」が、君津市民文化ホール駐車場で、開催されました。同大会は、消防操法の普及向上と士気高揚を図るとともに、千葉県消防操法大会への出場を選抜することを目的とした大会で、君津地区4市の代表が互いに技術を競い合いました。



本市からは、6月3日に行われた木更津市の大会で優勝したポンプ車の部8分団2部と、小型ポンプの部2分団5部が代表出場しました。

大会の結果

【ポンプ車の部】

- ▽優 勝 君津市消防団
- ▽準優勝 袖ヶ浦市消防団
- ▽第3位 富津市消防団
- ▽第4位 木更津市消防団

【小型ポンプの部】

- ▽優 勝 袖ヶ浦市消防団
- ▽準優勝 君津市消防団
- ▽第3位 富津市消防団
- ▽第4位 木更津市消防団

出場チーム紹介

【ポンプ車の部】

8分団2部(下内橋・戸国)

- ▽指揮者 富岡 章紀
- ▽一番員 小川 順也
- ▽二番員 及川 正一
- ▽三番員 東 圭亮
- ▽四番員 根本 紘樹
- ▽補助員 松崎 薫

【小型ポンプの部】

2分団5部(上鳥田・八幡台)

- ▽指揮者 井上 啓輔
- ▽一番員 鈴木 友章
- ▽二番員 嶋野 幸雄
- ▽三番員 中村 幸二
- ▽補助員 荻込 勲

《最優秀個人賞》

【小型ポンプの部】

- ▽三番員 中村 幸二(2分団5部)

全団員研修

平成30年4月29日(日)に全団員研修を開催しました。各部新体制のもと、団員の役割・役割別に分かれ、消防団の職務及び心得について学びました。

幹部研修では部長以上を対象に消防団幹部として物事を深く見通し本質をとらえ、優れた判断力を養い、また団員の士気高揚を図るための心得を学びました。



機関員講習では消防ポンプ及び消火栓の取り扱い等を学び、火災出動等の際に必要な知識と技術を習得しました。



規律訓練は新入団員をはじめとする団員が各小隊に分かれ、規律保持と気力の充実を図るための訓練を実施しました。



行事予定

平成30年度

11月4日

第41回木更津市消防団

早出し放水競技大会

11月9日～15日

秋の全国火災予防運動

12月28日～31日

歳末特別警戒

1月20日

平成31年木更津市

消防出初式

2月17日

春季消防演習

3月1日～7日

春の全国火災予防運動



平成30年火災件数(木更津市)

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
建物		1	1	2	3	1	2	4	14
車両	1			1			2		4
その他			2	5	2	1	2	4	16
合計	1	1	3	8	5	2	6	8	34

(平成30年8月31日現在)

出火原因と 火災予防の ポイント



原因別出火件数(上位7位)
総務省消防庁によると平成29年(1月から12月まで)の総出火件数は39,373件。

出火原因別表

順位	出火原因	出火件数
1	タバコ	3,712
2	放火	3,528
3	こんろ	3,032
4	たき火	2,857
5	放火の疑い	2,305
6	火入れ (野焼き)	1,772
7	電灯、電話等の配線	1,453



出火原因から予防のポイント

ポイントを幾つか挙げて
みたいと思います。

1 タバコ

出火原因第1位の「タバコ」「寝タバコ」、「火種の残ったタバコの不始末」などが原因で、適切な方法で始末をしていれば、火災の発生を未然に防ぐことができたと思われるものが大半を占めます。吸い殻の正しい処理と喫煙者の防火意識が重要になります。

また、タバコが原因による火災において、着火物では布団類が最も多く、高齢者に多く見られます。出火時に就寝中であること、泥酔状態で死亡するケースが目立ちます。「寝タバコをしない」ということはもちろん重要ですが、万が一のため、防災品のシーツや掛布団カバーを使用することもお勧めします。

ポイント

- 安全な場所での喫煙
- 吸殻を灰皿にためない、吸殻は水で消してから捨てる
- 喫煙中のうたた寝には注意
- 寝タバコはやらない

2 電気コード等

電気火災のうち漏電・電線のショート・スパーク・半断線・トラッキング等を原因とした発熱によって起こる火災(以下「電気コード火災等」という)は、火の気のない場所から出火するため注意が必要です。

これらの火災の出火原因は「コード」、「差し込みプラグ」が多くなっていて、火災に至った理由をみると、「金属の接触部が過熱する」、「電線がショートする」、「トラッキング」の順に多く発生しています。

コード等は物に踏まれたり折れ曲がった状態で使用されていたためにコードの被覆が損傷したり、長年使用したところによる経年劣化により、ショートや半断線が発生して火災に至るケースがあります。差し込みプラグは、差し刃間のトラッキング現象による火災が多く発生しています。

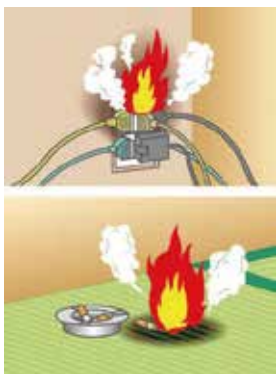
※トラッキングとは、コンセントに差し込んだプラグの差し刃間に付着した綿ほこり等が湿気を帯びて微小な

スパークを繰り返し、やがて差し刃間に電気回路が形成され出火する(※)を言います

ポイント

- ほこりがたまらないように、特に隠れているところに注意し定期的に掃除をする
- 差し込みプラグを抜くときは、コードではなくプラグ本体を持って抜く
- コードの折れ曲がり、家具等の下敷きに注意する
- 束ねての使用はしないようにする

- テーパータップは、決められた容量内で使用する
- 外出時や就寝時などは、使わないプラグはコンセントから抜いておく。



3 その他

意外な物が火事の原因に
稀なケースではありますが、火災原因の中には意外な物が

ら出火し火災に至ったものもあります。

● 収れん火災

太陽の光が鏡によって反射したり、凸レンズ状の物体などによって光が一点に集中し、物が燃えることによって発生する火災を収れん火災といいます。

ペットボトルや眼鏡、鏡や窓に張り付けた透明な吸盤など、私たちの身近にある様々な物でも収れん火災を引き起こす事があります。

● 通電火災

大規模な地震などで停電が発生し、その後復旧した際、火災が発生する事があります。この時、原因として最も多いのが通電火災です。

通電火災は地震で損壊した電化製品が停電の復旧により通電した際、断線したコードがショートする事により起ります。また、転倒したスタンドライトや電気ストーブに可燃物が接触する事によっても引き起されます。

